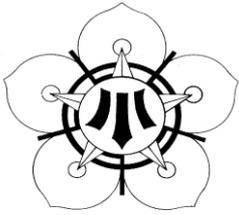


地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！

福生市立福生第七小学校
令和6年度 学校だより



く さ ぶ ぶ え

福生第七小学校
ホームページ
URL



<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>

所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 山岸 史子

令和7年2月28日 発行

体験を経験知に

校長 山岸 史子

今年度のゴールが目前に迫るだけでなく、次の学年のスタート地点も視界に入る時期になりました。この一年間も、子どもたちの成長に喜びと驚きをもらいながら、保護者・地域・学校で連携をして福生第七小学校の教育活動を進めてこられたことに、改めて感謝申し上げます。

この一年は様々なことが創立50周年に結びつき、その中で、七小の一員である自覚、地域の一員である自覚を意識した学習・活動を進めてきました。授業規律の指導、かかわり学ぶ学習活動での「本物体験」、縦割り班活動、幼保小連携事業や三中学区の連携事業等を通して、また、全校で集まる機会を増やすなどして、あいさつや相手を大切に話す話の聞き方なども学び、身に付けてきました。

人として成長していく過程では、言葉の習得をはじめ、周りの大人がしている様々な行動や評価をもとに、どのようにするものか、どのようにしたら良いかを学び、真似をしながら身につけています。やることなすこと「親子でそっくり」と言われるのは、当然のこと。子どもがよく親の姿を見て学んでいる証です。時に行きすぎると、「過剰適応」と言われるように、他者からの評価を気にしすぎて、自由に振る舞えない辛さを抱えてしまうこともあります。どう自由にしていけるのかも、周囲の大人がかかわりの中で体験させていくことが大切です。

「ほめて育てる」とよく言いますが、ほめられたときに、何が良いのか、どうあることが素晴らしいのかが子どもに伝わると、経験知となって他の場面でも自由に使える、自分の在り方につながります。

その中でも大切なのが、「習慣」です。「早寝・早起き・朝ごはん」は、誰もが聞いたことのある基本的な大切な生活習慣を表しています。今年度は学校でも「歯磨き」に取り組みました。歯の健康は全身の健康につながります。そして、歯磨きを通して、その他の身体の健康についても考えて行ってほしいと思うからです。歯に限らず、一生一緒にいる自分のことをよく知り、適切にメンテナンスできることは、人生100年時代と言われる現代では、切り離すことはできません。

これまで保健室からもお便りをお願いしていますが、春に行われた学校での健康診断の際お渡しした受診をお勧めする治療勧告書のご提出が、まだ100%になりません。完治を目指せるものばかりではありません（私も花粉症は毎年指摘されて受診していました…）が、自分の身体の強み弱みを把握して、少しでもよい状態にしていこうとする意識と実践力を身につけるチャンスです。て、令和6年度のものとは令和6年度のうちに、受診してご提出ください。

親に病院に連れて行ってもらう改善した体験は経験知となり、子どもたちが自立して巣立って行く時、自分で生きていくことができる力につながります。一緒に取り組んでいきましょう。